



慶應義塾大学ビジネス・スクール

楽天(株)

5

< a > 創業から成長期へ

楽天市場の創業

10

1997年初め、東京・愛宕のオフィスビルでエム・ディー・エム（MDM）という会社が生まれた。MDMは「マジカル・デジタル・マーケット」の略で、「楽市楽座」から連想したものだった。資本金2,000万円、社員5人のスタートだった。

「一度きりの人生なら何か新しいことをやりたい」

15

社長の三木谷浩史が起業を思い立ったのはその2年前に、阪神大震災で叔父や叔母を一度に失ったことが動機だった。一橋大学商学部を卒業後、日本興業銀行に勤めていたが、平凡なサラリーマン生活にピリオドを打とうと考えたのである。

興銀ではソフトバンクの企業買収を手伝い、社長の孫正義のベンチャー経営を肌で感じる機会に恵まれた。しかも当時はインターネットが脚光を浴び始めた頃で、ハーバード大学留学時の米国の友人も次々と起業していたが、それが三木谷の背中を押した。

20

とりあえず1995年秋に、「クリムゾングループ」というコンサルティング会社を作り、事業計画を練るところから始めることにした。そんな時、偶然に出会ったのが慶應義塾大学SFC（湘南藤沢キャンパス）大学院生の本城愼之介だった。彼は興銀への就職を希望しており、銀行の内情を知るには「辞めた人間の話を聞くべきだ」と思って、人づてに三木谷を訪ねてきたのである。

25

このケースは慶應義塾大学ビジネス・スクール山根 節が公表資料をもとにクラス討議の資料として作成した。（2010年6月作成）

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は<http://www.kbs.keio.ac.jp/>へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

Copyright© 山根 節（2010年6月）